

安倍川上流の生痕化石と砂金採集

横山謙二

2023年11月11日（土）に安倍川上流の生痕化石と砂金採集を行いました。この日は曇りで、天気恵まれていませんでしたが、19人の参加者がありました。

黄金の湯駐車場に集合して、まず大谷崩に向かいました。

大谷崩周辺には、約5,000万年前に深海底に堆積した泥や砂からなる地層が見られ、その中には生き物の痕跡の生痕化石が見られることがあります。講師の柴先生に説明してもらった後に、参加者の皆さんで河川敷に落ちている岩石に生痕化石がないか、探しまわりました。

ここでこの観察会で採集した化石を紹介します。
コスモラフエ *Cosmorhappe isp*（写真1）：蛇行したひも状の生痕です。この痕跡をつくった生物は正確にはわかりませんが、巻貝が泥の中の餌（有機物）を効率よく摂取し、蛇行しながら移動した跡と考えられています。
プロトバーギュラリア（ネレイテス） *Protovirgularia isp*（写真2）：直線状に伸びる生痕です。これもつくった生物は正確にはわかりませんが、二枚貝が移動した跡と考えられています。

午後は、皆さんが楽しみにしていた砂金採集です。金山があつた魚魚（とと）の里近くの日影沢に行きました。

砂金採集ベテランの坂本さん等に採集場所や採集方法を説明してもらいながら、砂金を探し始めました。みなさん、一心不乱に探し、次第に無口になっていきます（写真3）。

採集開始から約1時間経過したころ、0.1mmほどの小さな砂金をみつけた人ができました。

その後も、観察会終了時刻まで、みなさん熱心に探しましたが、採集できた砂金はわずかなものでした。それでも、あきらめず解散後も残り採集を続けた人たちもいました。



コスモラフエ *Cosmorhappe isp* : 大谷崩では比較的、よく見られる生痕化石。



プロトバーギュラリア *Protovirgularia isp* : プロトバーギュラリアに似ているが、違う生痕の可能性もある。



熱心に砂金を探すみなさん。誰も顔を上げない。